

自営業婦人の妊娠時における健康管理に関する研究

宮原 忍(東京大学医学部母子保健学教室)
伊藤 みよ(松戸市)
天野 和彦(東京都立荒川産院)
藤井 仁(母子愛育会附属愛育病院)

勤労婦人、特に大企業に勤務する婦人については、労働基準法の母性保護規定などにより、戦前に比し、母性保護の水準は著しく改善されたと考えられる。これに反して、婦人自身が独立して自営業を営む者、及び専ら家族のみを使用する事業で労働する婦人については、労働基準法の適用外であり、妊娠、出産時の母性保護について、明確な保証がない。本研究では、以下、前者を独立自営業婦人、後者を家族従業婦人と呼び、主として後者を中心として、雇用により勤労する婦人(以下、勤労婦人)、職業をもたない婦人(無職婦人)との比較において、妊娠、出産の経過を比較した。

自営業といわれるものには、多種多様な業務を含み、その分布は地域によりさまざまである。われわれは、東京およびその近郊において、それぞれ特性の異なる三つの地域において、以下の研究を行なった。

このうち、東京都立荒川産院は、東京の下町の、母子愛育会附属愛育病院は山手の妊産婦が多く、また、千葉県松戸市は、東京のベッドタウンとして、最近急速な発展をした中都市である。

1. 対象と方法

都立荒川産院においては、昭和52年8月1日から昭和53年7月31日までの1年間に出生した婦人1,899人の中から、病歴をもとに夫の職業別に自営業と勤めの2群に分け、それぞれ系統無作為抽出法により250例ずつを抽出、合計500例につき、質問紙を郵送した。そのうち回収されたもの266例、あて先不明のもの29例で回収率は53.2%となった。回収されたものについて、更に婦人の労働内容によって自営業婦人、勤労婦人、無職婦人の3群に再分類し、分析した。なお、分類不能のものが23例あり、分析の際にはこれを除いた。

愛育病院においては、昭和51年1月1日より、昭和52年12月31日までに同病院で分娩した

産婦1,468人に同様の質問紙を送付し、回収された839例について分析を行なった。このうち分けは、家族従業94、独立自営業31、勤労104、無職610であった。

松戸市においては、昭和53年1月15日現在、市内に在住し、昭和52年6月1日から同年11月30日までに出産した3,581人のうち、妊娠中の職業が明らかに無職である者を除いた1,450人に質問紙を送付、回収された864人について分析した。このうち自営業婦人95人、勤労婦人282人、無職婦人487人であった。松戸市においては、特に初産、経産別の比較を行なった。

2. 結果

〔荒川産院〕

夫・妻の職業(表1)：妻の職業は、自営業65人、勤労45人、無職132人であった。妻が自営業のものは、夫も自営のもの61人(93.8%)、勤労のもの4人(6.2%)であり、妻が勤労のものは、夫が自営業のもの9人(20.0%)、夫も勤労のもの36人(80.0%)であった。夫が自営業の場合、妻も自営のもの56.0%、夫が勤労の場合、妻も勤労のもの27.0%で、自営業では、夫婦が共にこれに従事する傾向が強いことが示された。

自営業婦人の職業(図1)：自営業婦人の職業内容は、製造加工業が35.4%で最も多く、飲食喫茶が15.4%でこれに次ぎ、以下、小売、事務、その他の順となった。

出産年齢(表2)：平均年齢では、自営業婦人は初産、経産共に高い。とくに初産で30才以上の婦人は、自営業で30.4%勤労で20.6%、無職で13.3%と、三群それぞれ異った割合をもっている。経産で30才以上は、自営業42.6%、勤労40.0%、無職28.0%であるが、自営業では更に35才以上の出産者がみられることが特徴的である。

世帯構成(表3)：親・兄妹と同居のものが自営業では33.8%あり、無職がこれに次いで21.2%、

勤労では最も少なく13.0%であった。

年収(表4)：どの群も年収180-360万の層が多かったが、自営業では所得のバラツキが極めて大きく、また、特に低所得のものが他の群より明らかに多かった。

初回診察の時期(表5)：妊娠4カ月以降に初診を受けたものは、勤労婦人10.9%、無職婦人19.1%に対して、自営業婦人は32.8%に達した。

定期健診受診回数、産後健診については三群に大きな差はなかった。

母親学級受講の有無(表6)：出たことのない者は勤労妊婦において43.5%で最も多く、他の二群はほぼその割合が等しかった。

母親学級に出なかった理由(表7)：自営業においては、多忙を挙げたものが73.1%で最も多かった。

妊娠中の睡眠時間：自営業では58.5%のものが不足を感じていた。次が無職で45.4%、勤労39.2%の順であった。

妊娠中毒症は自営業に特に多いとはいえなかった。

貧血は自営業婦人の67.7%にみられ、次いで無職の59.1%、勤労の47.8%であった。

妊娠中の1日の労働時間(表8)：勤労婦人に比べて4時間未満の者が多いが、他方、10時間以上の者もあった。

労働姿勢については、主に立ってする者は、勤労で15.6%に対し、自営業では33.3%と多かった。

さらに、自営業婦人は、勤労婦人に比べて、定期的に休日のある者が少なく、産前休業のなかった者が多く、産後休養の期間が6週間に達しない者が多かった。

〔愛育病院〕

自営業の内容(表9)：家族従業、独立自営とも、その他に分類される多様な職業多く、家族従業では商業、飲食店、製造業、サービス業となった。

世帯構成(図2)：家族従業では、非核家族が29.8%と多かった。

毎月の収入(図3)：50万円以上のものは、独立自営、勤労、無職ともに6~7%にすぎないのに、家族従業は18.1%を占め、高所得者が多いことがわかった。

年令(表10)：35才以上のものは家族従業で12.8%、独立自営9.7%、勤労5.8%、無職3.8%であった。

初回診察の時期は、家族従業、独立自営におけるものが多く多かった。

母親学級は家族従業72.3%、独立自営64.5%、勤労67.3%が受けており、これらは無職の80.8%より少なかった。家族従業、勤労は受けなかった理由に多忙を挙げる者が多かった。

産前休暇(図4)：退職者と無答を除くと、家族従業の48.3%、独立自営の45.0%が産前休暇がなく、このうち家族従業では37%が多忙を理由としていた。

既往の流産回数(表11)：家族従業には、21.3%の流産既往があり、勤労18.3%、無職16.2%より多かった。

分娩時の妊娠中毒症(図5)：家族従業では21.3%と、無職の10.3%の約2倍であった。

〔松戸市〕

自営業妊婦の職業(表12)：小売店が最も多く27.4%、次いで飲食店、農業、製造業、理美容およびその他の順であった。

居住年数(表13)：初産において5年以上居住している者が自営業に多かった。

初回診察の時期(表14)：自営業、特に経産の初診がおくれる者が多かった。

受診回数(表15)：自営経産が少なかった。

表1. 職業の種類

業種	自営業	勤労	計
自営業	61 (93.8)	4 (6.2)	65 (100.0)
勤労	9 (20.0)	36 (80.0)	45 (100.0)
家庭	39 (29.5)	93 (70.5)	132 (100.0)
計	109 (45.0)	133 (55.0)	242 (100.0)

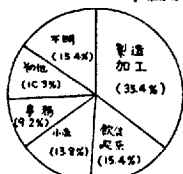


図1. 自営業者の職業

表2. 出生年

		-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-	計	平均年齢
自営業	初産	0 (0.0)	4 (17.4)	12 (52.2)	5 (21.7)	2 (8.7)	0 (0.0)	23 (100.0)	28.1
	経産	2 (4.3)	3 (6.4)	22 (66.8)	13 (27.7)	6 (12.8)	1 (2.1)	47 (100.0)	29.2
勤労	初産	1 (3.4)	7 (24.1)	15 (51.7)	5 (17.2)	1 (3.4)	0 (0.0)	29 (100.0)	26.7
	経産	0 (0.0)	2 (13.3)	7 (46.7)	6 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (100.0)	28.3
家庭	初産	0 (0.0)	10 (33.3)	16 (53.3)	3 (10.0)	1 (3.3)	0 (0.0)	30 (100.0)	26.2
	経産	1 (1.0)	11 (11.0)	60 (60.0)	23 (23.0)	3 (3.0)	2 (2.0)	100 (100.0)	28.1

表3. 世帯構成

	夫婦のみ	夫婦と子供	親兄弟も同居	その他	計
自営業	14 (21.5)	26 (40.0)	22 (33.8)	3 (4.6)	65 (100.0)
勤労	27 (58.7)	13 (28.3)	6 (13.0)	0 (0.0)	46 (100.0)
家庭	29 (22.0)	72 (54.5)	28 (21.2)	3 (2.3)	132 (100.0)
計	70 (28.8)	111 (45.7)	56 (23.1)	6 (2.5)	243 (100.0)

表4. 年収

	-120	120-180	180-360	360-600	600-	計
自営業	4 (6.8)	18 (30.5)	24 (40.7)	10 (16.9)	3 (5.1)	59 (100.0)
勤労	4 (9.5)	10 (23.8)	24 (57.1)	4 (9.5)	0 (0.0)	42 (100.0)
家庭	5 (4.0)	25 (19.8)	84 (66.7)	11 (8.7)	1 (0.8)	126 (100.0)
計	13 (5.7)	53 (23.3)	132 (58.1)	25 (11.0)	4 (1.8)	227 (100.0)

表5. 初回就職の時期

	就職 3~4月まで	就職 4~6月	計
自営業	43 (67.2)	21 (32.8)	64 (100.0)
勤労	41 (29.1)	5 (10.7)	46 (100.0)
家庭	106 (20.9)	25 (19.1)	131 (100.0)
計	190 (78.8)	51 (21.2)	241 (100.0)

表6. 母親学級受講率の概況

	出席率 70%以上	出席率 60%以上	計
自営業	40 (61.5)	25 (39.5)	65 (100.0)
勤労	26 (56.5)	20 (43.5)	46 (100.0)
家庭	83 (62.9)	49 (37.1)	132 (100.0)
計	149 (61.3)	94 (38.7)	243 (100.0)

表7. 母親学級に出席しない理由

	仕事 のため	多忙 のため	知人が ない	その他	計
自営業	6 (23.1)	19 (73.1)	1 (3.8)	0 (0.0)	26 (100.0)
勤労	2 (10.5)	13 (68.4)	3 (15.8)	1 (5.3)	19 (100.0)
家庭	14 (28.6)	7 (14.3)	7 (14.3)	21 (42.4)	49 (100.0)
計	22 (23.4)	39 (41.5)	11 (11.7)	22 (23.4)	94 (100.0)

表8. 母親中の1日の労働時間

	4時間未満	4-8時間	8-10時間	10時間以上	計
自営業	28 (47.5)	18 (30.5)	9 (15.5)	4 (6.8)	59 (100.0)
勤労	0 (0.0)	33 (73.3)	11 (24.4)	1 (2.2)	45 (100.0)
計	28 (26.9)	51 (49.0)	20 (19.2)	5 (4.8)	104 (100.0)

図2. 世帯構成

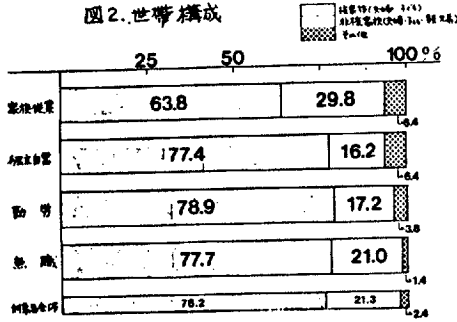


表10. 年齢

	20歳~	25歳~	30歳~	35歳~	計
家族従業	5	56	21	12	94
独立自営	2	19	7	3	31
勤労	10	69	19	6	104
無職	44	367	176	23	610
計	61	511	223	44	839

表9. 自営業の内容(対象者)

	農業	商業	飲食店	理美容業	製造業	服飾営業	専門職	サービス業	その他	計
家族従業	1	23	13	1	5	1	2	3	37	94
独立自営	0	3	3	2	0	1	0	1	21	31
計	1	26	16	3	5	2	2	4	58	125

図3. 毎月の収入について

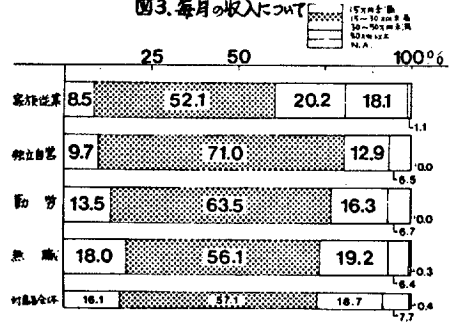


図4. 産前に仕事を休みましたか

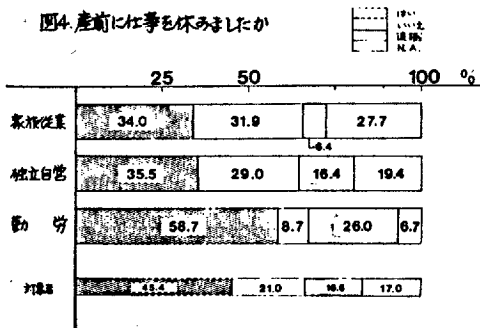


図5. 分娩時の中毒症

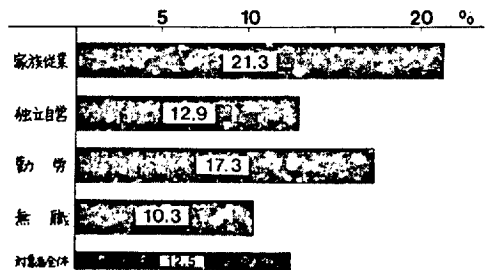


表11. 流産

	1回	2回	3回	4回	計	%
家族従業	16	1	3	0	20	21.3%
独立自営	3	1	0	0	4	12.9%
勤労	15	4	0	0	19	17.3%
無職	77	19	0	1	97	16.2%
計	111	25	3	1	142	16.9%

表12 自営業妊婦の職業

	農業	小売店	飲食店	理美容店	製造業	風俗営業	塾(教師)	その他	記入なし	計
家族・主人と一緒	0	23	21	4	8	2	0	*6	2	76
	13.2	30.3	27.6	5.3	10.5	2.6		7.9	2.6	100.0
家族・主人と別	2	3	0	3	0	0	4	**1	6	19
	10.5	15.8		15.8			21.1	5.3	31.6	100.0
計	12	26	21	7	8	2	4	7	8	95
	12.6	27.4	22.1	7.4	8.4	2.1	4.2	7.4	8.4	100.0

その他の職業 *クリーニング、洗張り、室内装束、縫製、修理、貿易会社 **税理士

表13 居住年数

	初産			経産		
	5年未満	5年以上	計	5年未満	5年以上	計
自営業	30	10	40	24	31	55
	77.5	22.5	100.0	43.6	56.4	100.0
勤労	189	37	226	25	31	56
	83.6	16.4	100.0	44.6	55.4	100.0
無職	174	23	197	210	65	275
	88.3	11.7	100.0	76.4	23.6	100.0
計	393	70	463	259	127	386
	84.9	15.1	100.0	67.1	32.9	100.0

表14 初回診療の時期

	初産				経産			
	妊婦3か月まで	4~6	7か月以上	計	妊婦3か月まで	4~6	7か月以上	計
自営業	35	5	0	40	43	12	0	55
	87.5	12.5		100.0	78.2	21.8		100.0
勤労	214	16	0	230	49	7	0	56
	93.0	7.0		100.0	87.5	12.5		100.0
無職	183	17	1	201	240	42		282
	91.0	8.5	0.5	100.0	85.1	14.9		100.0
計	432	38	1	471	332	61		393
	91.7	8.1	0.2	100.0	84.5	15.5		100.0

表15 受診回数

	初産				経産			
	1か月に1回以上受けた	時々受けた	1~3回程度受けた	計	1か月に1回以上受けた	時々受けた	1~3回程度受けた	計
自営業	36	1	3	40	44	9	2	55
	90.0	2.5	7.5	100.0	80.0	16.4	3.6	100.0
勤労	221	5	4	230	51	4	1	56
	96.1	2.2	1.7	100.0	91.1	7.1	1.8	100.0
無職	193	3	5	201	258	20	5	283
	96.0	1.5	2.5	100.0	91.2	7.1	1.8	100.0
計	450	9	12	471	353	33	8	394
	95.5	1.9	2.5	100.0	89.6	8.4	2.0	100.0

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

勤労婦人,特に大企業に勤務する婦人については,労働基準法の母性保護規定などにより,戦前に比し,母性保護の水準は著しく改善されたと考えられる。これに反して,婦人自体が独立して自営業を営む者,及び専ら家族のみを使用する事業で労働する婦人については,労働基準法の適用外であり,妊娠,出産時の母性保護について,明確な保証がない。本研究では,以下,前者を独立自営婦人,後者を家族従業婦人と呼び,主として後者を中心として,雇用により勤労する婦人(以下,勤労婦人),職業をもたない婦人(無職婦人)との比較において,妊娠,出産の経過を比較した。